

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

No.	37	主な対象	小学5年生以上向け(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	環境に負荷の少ないエネルギーを考えよう(SOE)		
テーマ	エネルギー・地球温暖化	形式	講義＋体験
所要時間	1時間半	人数	小学5年生～高校生:10～40名 大学生～一般:10～80名(要相談)
推奨実施時期	通年		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による 自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	2～4名
ねらい・内容	<p>■ねらい 3つのエネルギー源(化石エネルギー・原子力エネルギー・自然エネルギー)について、環境、健康への安全・自給率・電気の安定的供給などを資料を基に比べ、環境へ負荷を減らすこれからのエネルギー源について、自分で考え、意見を発表し交流する。</p> <p>■内容 ＜3つのエネルギーについてプレゼンテーションを聞く＞ ・ワークシートに、自分の感想・意見を記入する。 ＜各エネルギーから、グループで1つを選択し、長所短所をまとめる＞ ・化石エネルギーの長所短所 ・原子力エネルギーの長所短所 ・自然エネルギーの長所短所 ＜発表＞ ・各グループ毎に、選択したエネルギーの長所短所を発表する。 ・質問意見を出し合う。 ＜ふりかえり＞ ・エネルギー源について、理解が深まったか。 ・環境へ負荷を減らすエネルギーについて、考える事ができたか。</p>		
依頼元にご用意いただく材料等	<p>①紙などの敷物(作業台に敷く) ②模造紙 各グループ1枚 ③油性マジックセット(1グループに1つ) ④強力マグネット(4×グループ数) ⑤記入用黒名前ペン(各自)</p>	講師側準備物	<p>①3つのエネルギー源についてのグループ用資料 ②プレゼンテーション用SDカード ③風で発電実験装置:LED電気付きモーター、かざぐるま(ペットボトルの羽でできた)、うちわ ④ワークシート2枚(1は、プレゼンテーションを聞いて、自分の感想や、意見を書く。2は選択したエネルギー源について、自分たちの意見を記入) ⑤掲示用の意見を書く短冊 3枚×参加者数</p>
依頼元に必要な設備・機材	<p>①作業台 ②椅子(人数分) ③ホワイトボードとボード用ペン ④電子黒板、またはPC・プロジェクター・スクリーン ⑤使用可能の場合、参加者用タブレット(発表をタブレットおよび電子黒板で行う)</p>	実施場所	室内で人数が密にならない広さの会場・学校等のパソコン室(借用できる場合)
依頼元必要スタッフ数	各グループに1名(要相談)		
打ち合わせ	<p>【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようにお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で見学・打ち合わせをさせていただきます。</p>		
その他	<p>講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。</p> <p>★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。</p>		